

※片面印刷をして、「振込控え」を1枚目裏面に全面貼りしてください。

どちらかに○→

二級 建築士 免許 申請 書 (第一面)

私は、二級 木造 建築士の免許を受けたいので、本籍の記載のある住民票の写しに加え、その他必要な書類を添え、申請します。

私は、下記事項が事実で、かつ、正確であることを誓います。

令和 〇〇年 〇〇月 〇〇日

福岡県指定登録機関
公益社団法人 福岡県建築士会 会長 殿

氏 名 博 多 太 郎

ふりがな 氏 名	はかた たろう 博 多 太 郎	生年月日	平成〇〇年 〇〇月 〇〇日	性 別 男 <input checked="" type="checkbox"/> 女 <input type="checkbox"/>
本 籍	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇番〇〇 ※住民票記載の本籍を正確にご記入ください。			写真 1 申請前3ヶ月以内に撮影したものです。 無帽、正面、上半身、無背景の縦4.5cm、横3.5cmの写真の裏面に氏名及び撮影年月日を記入し、のりで貼り付けてください。 2 貼付した写真は免許証に転写されます。
現 住 所	〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇番〇〇 □□マンション △△号 TEL ×××-×××-××××			
試 験	二級 建築士試験の合格時期 木造 令和 4 年			第 8A-〇〇〇〇〇〇 号
	合格年月日	令和 4 年 12 月 1 日	合格番号	
登録申請区分	1 学歴 <input type="checkbox"/> 2 学歴+実務 <input type="checkbox"/> 3 実務 <input type="checkbox"/> 4 建築士法第4条第5項 <input type="checkbox"/> ↑ 申請区分のいずれかにチェック <input checked="" type="checkbox"/> をいれてください。			
1 学歴により申請する場合のみ記入	学校名	学部名・学科名	入学・卒業(修了)年月	
	〇〇大学	〇〇学部〇〇学科	〇年 〇月入学 〇年 〇月卒業(修了)	
			年 月入学 年 月卒業(修了)	
2 学歴+実務により申請する場合のみ記入	学校名	学部名・学科名	入学・卒業(修了)年月	建築実務経験期間の合計
	〇〇大学	〇〇学部〇〇学科	〇年 〇月入学 〇年 〇月卒業(修了)	〇年 〇月
			年 月入学 年 月卒業(修了)	
3 実務により申請する場合のみ記入	建築実務経験期間の合計			
	〇年 〇月			
4 建築士法第4条第5項により申請する場合のみ記入	免許名称	免許者名	免許の年月日	資格認定書の年月日
	△△△△	〇〇〇〇	〇〇年 〇〇月 〇〇日	〇〇年 〇〇月 〇〇日

→それぞれの申請区分該当欄にご記入ください。

(第二面)

欠格事由1～5のうち、該当する項目がある場合は「ある・はい」に、ない場合は「ない・いいえ」にチェック☑ してください。 ↓

欠格事由	1 拘禁刑以上の刑に処せられたこと(刑法等の一部を改正する法律(令和4年法律第67号)による改正前の刑法(明治40年法律第45号)第13条に規定する禁錮以上の刑に処せられたことを含む。)がありますか。						ある <input type="checkbox"/>	ない <input checked="" type="checkbox"/>	
	あるときは、その罪及び刑						年	月	日
	あるときはその刑の執行を終わり、又は執行を受けることがなくなつた日						年	月	日
	2 建築士法の規定に違反して、又は建築物の建築に関し罪を犯して罰金の刑に処せられたことがありますか。						ある <input type="checkbox"/>	ない <input checked="" type="checkbox"/>	
	あるときは、その罪及び刑						年	月	日
欠格事由	3 建築士法第9条第1項第4号又は第10条第1項の規定により一級建築士、二級建築士又は木造建築士の免許を取り消されたことがありますか。						ある <input type="checkbox"/>	ない <input checked="" type="checkbox"/>	
	あるときは、その日						年	月	日
	4 建築士法第10条第1項の規定による業務の停止の処分を受け、その停止の期間中に建築士法第9条第1項の規定により一級建築士、二級建築士又は木造建築士の免許を取り消されたことがありますか。						ある <input type="checkbox"/>	ない <input checked="" type="checkbox"/>	
	業務の停止の処分を受けたことがあるときは、その停止期間						年	月	日から
							年	月	日まで
※審査	5 精神の機能の障がいにより二級建築士又は木造建築士の業務を適正に行うに当たって必要な認知、判断及び意思疎通を適切に行うことができない状態ですか。						はい <input type="checkbox"/>	いいえ <input checked="" type="checkbox"/>	
※登録番号	※登録年月日						年	月	日

- (注) 1 数字は算用数字を用い、※欄は記入せず、□のある欄は該当する□の中にレ印を付けること。外国の建築士免許を受けた方は、「試験」の欄にその免許の名称、免許者名及び免許の年月日を記入すること。
- 2 外国籍の者は、市町村長の発行する「住民票の写し(国籍の記載を含む)」。(原本)を添付すること。

以下の事項は、円滑な登録実施のために必要となりますので、記入についてご協力ください。

→ 該当する箇所には☑をいれてください。

告示等に基づく学歴等区分 (登録申請時)	□50 大学・短大・高専卒 40単位	□51 職能大(短大)卒 40単位	□52 大学・短大・高専・ 職能大等卒 30単位	□53 大学・短大・高専・ 職能大等卒 20単位
	□54 高校・中学卒 20単位	□55 高校・中学卒 15単位	□56 専修(高校卒) 2年以上 40単位	□57 専修(高校卒) 2年以上 30単位
	□58 専修(高校卒) 1年以上 20単位	□59 専修・職訓校(中学卒) 2年以上 15単位	□60 専修・職訓校(中学卒) 1年以上 10単位	□61 職訓校(高校卒) 3年以上30単位
	□62 職訓校(高校卒) 1年以上20単位	□63 職訓校(中学卒) 3年以上20単位	□64 実務経験	□65 その他 (建築設備士等)